

NY マーケットレポート (2016年8月9日)

NY 市場では、序盤に発表された 2Q 非農業部門労働生産性が市場予想に反して低下となり、3 四半期連続のマイナスとなったことを受けて、ドルは序盤に軟調な動きとなった。その後、米卸売在庫・卸売売高が予想を上回る結果となったことや、欧米の株価が堅調な動きとなったことも影響し、ドル円・クロス円は値を戻す動きも見られた。しかし、原油価格や株価が下落に転じたことに加えて、米国債券利回りが低下したことを受けて円買いが優勢となり、終盤まで上値の重い動きが続いた。また、来週に EU 離脱選択後の英経済の状態を示す経済データが公表されることから、上値の重い動きが続いている英ポンドは、英当局者が一段の利下げと量的緩和が必要となるとの考えを示したことが嫌気され、一時主要 16 通貨に対して下落となった。特に、ドル、円に対しては、7 月 11 日以来約 1 ヶ月ぶりの安値となった。

2016年8月9日 (火)

NEW YORK	NY終値	NY高値	NY安値
USD/JPY	101.92	102.28	101.80
EUR/JPY	113.27	113.35	113.04
GBP/JPY	132.56	132.72	132.12
AUD/JPY	78.17	78.41	78.02
NZD/JPY	72.99	73.21	72.79
EUR/USD	1.1114	1.1123	1.1075
AUD/USD	0.7671	0.7688	0.7646

米主要株価	終値	前日比
米ダウ平均	18533.05	+3.76
S&P500	2181.74	+0.85
NASDAQ	5225.48	+12.34
日経225 (CME)	16680	+45
トロント総合	14801.23	+45.61
ボルサ指数	47630.37	+261.72
ボベスパ指数	57689.41	+53.99

8/10 経済指標スケジュール

08:50	【日本】7月国内企業物価指数
08:50	【日本】6月機械受注
09:30	【オーストラリア】8月ウエストバック消費者信頼感指数
10:30	【オーストラリア】6月投資貸付
10:30	【オーストラリア】6月住宅ローン約定件数
13:30	【日本】6月第三次産業活動指数
15:45	【フランス】6月鉱工業生産
15:45	【フランス】6月製造業生産指数
16:30	【スウェーデン】6月鉱工業生産
17:00	【ノルウェー】7月消費者物価指数
17:00	【ノルウェー】7月生産者物価指数
20:00	【米国】MBA住宅ローン申請指数
23:00	【米国】6月JOLT労働調査[求人件数]
03:00	【米国】7月財政収支
06:00	【ニュージーランド】政策金利発表

コモディティ	終値	前日比
NY GOLD	1346.70	+5.40
NY 原油	42.77	-0.25
CMEコーン	332.50	-2.25
CBOT 大豆	988.00	+3.00

米国債利回り	本日	前日
2年債	0.71%	0.72%
3年債	0.83%	0.85%
5年債	1.11%	1.14%
7年債	1.38%	1.42%
10年債	1.55%	1.59%
30年債	2.26%	2.30%

8/10 主要会議・講演・その他予定

・米10年債入札

出所：SBILM

NY 市場レポート

21:30

◀ 経済指標の結果 ▶

2Q 非農業部門労働生産性 (前期比年率) -0.5% (予想 0.4%・前回 -0.6%)

4-6 月期の米非農業部門の労働生産性の速報値は、市場予想に反して低下となる前期比-0.5%と、3 四半期連続のマイナスとなった。ただ、前期の-0.6%からは低下率が縮小した。労働時間の伸びが生産の増加を上回り、生産性の低下をもたらしたことが影響した。

- ①単位あたり労働コストは、前期比+2.0%と前期からプラスに転じ、2 四半期ぶりに上昇した。前年同期比では+2.1%となった。
- ②労働生産性では、前期比で生産が+1.2%、前年同期比では+1.1%。労働時間は前期比+1.8%、前年同期比では+1.5%
- ③時間当たりの労働報酬は、名目ベースで前期比+1.5%、前年同期比では+1.7%。実質ベースで前期比-1.1%、前年同期比では+0.6%。
- ④製造業の生産性は、前期比-0.2%、生産が-0.8%、労働時間が-0.7%。前年同期比では、生産性は+0.9%、生産が+0.3%、労働時間は-0.6%。

経済指標データ

≪非農業部門労働生産性指数 ≫

	4-6	1-3	10-12	7-9	4-6
非農業部門労働生産性指数	-0.5	-0.6	-1.7	2.0	3.1
生産	1.2	0.7	1.5	1.8	5.1
労働総投入量	1.8	1.4	3.3	-0.2	1.9
時間あたり給与	1.5	-0.8	3.1	2.9	4.8
実質給与	-1.1	-0.4	2.3	1.5	2.2
単位あたり労働コスト	2.0	-0.2	-6.2	1.1	-0.1
単位あたり非労働コスト	3.0	1.8	-6.2	1.1	-0.1
価格指数	2.4	0.7	0.5	1.0	2.0

(前期比、年率%)

22 : 20

ポンドがドルに対し5営業日続落となり、約1ヵ月ぶりに1.30ドルを割り込む。

来週にEU 離脱選択後の英経済の状態を示す経済データが公表されることに加えて、英中銀 MPC（金融政策委員会）のマカファーティ委員が英紙タイムズへの寄稿で、一段の利下げと量的緩和が必要となるだろうとの考えを示したことが影響し、英ポンドは主要通貨16通貨に対して軟調な動きとなった。対ドル、対円で共に7月11日以来の安値を付ける動きとなった。



出所 : Net Dania



出所 : Net Dania

23 : 00

◀ 経済指標の結果 ▶

6月米売在庫（前月比） 0.3%（予想 0.0%・前回 0.2%）

前回発表の0.1%から0.2%に修正

6月の米卸売在庫は、前月比+0.3%の5908億6400万ドルで、4ヵ月連続のプラスとなった。耐久財が減少する一方で、非耐久財が増えたことから、全体が押し上げられた。

①耐久財は-0.3%となり、自動車が-0.1%、家具が-0.1%、機械が-0.1%、専門機器が-0.3%、金属が-0.4%、電気製品が-0.9%。

②非耐久財は+1.1%となり、薬品が+4.9%、農産物が+4.0%、紙製品が+0.1%、衣料品は-1.5%。

指標結果データ

◀米卸売在庫▶

	6月	5月	4月	3月	2月	1月
在庫合計	0.3	0.2	0.7	0.2	-0.6	-0.2
耐久財	-0.3	0.2	0.1	0.0	-0.4	-0.7
・自動車	-0.1	-1.4	-0.8	1.6	-0.8	0.2
・機械	-0.1	0.2	0.6	0.0	-0.2	-0.1
非耐久財	1.1	0.1	1.6	0.7	-0.8	0.7
・医薬品	4.9	-3.8	2.2	2.3	-3.1	3.6
・食料雑貨	-0.5	-0.3	-1.1	-0.9	0.7	0.2

23:00

◀ 経済指標の結果 ▶

6月米卸売売上高（前月比） 1.9%（予想 0.5%・前回 0.7%）
 前回発表の 0.5%から 0.7%に修正

6月の卸売売上高は、前月比+1.9%の4445億9600万ドルとなり、2012年9月以来の大きな伸びとなった。

①耐久財は+1.2%となり、金属が+0.8%、電気製品が+2.5%、金物製品が+7.7%、機械が+2.8%、自動車は-1.4%となった。

②非耐久財は+2.5%となり、医薬品が+2.0%、衣料品が+0.7%、石油製品+5.1%、農産物が5.1%となった。

③在庫高は、売上高の1.33ヵ月分に相当し、前月から0.02ヵ月のマイナス。昨年10月以来の低水準となった。

	6月	5月	4月	3月	2月	1月
売上合計	1.9	0.7	0.8	0.6	-0.2	-1.9
耐久財	1.2	0.7	0.3	-0.6	1.4	-2.0
・自動車	-1.4	-1.9	2.1	-0.6	-0.3	-2.2
・機械	2.8	0.3	1.6	0.2	-1.3	0.2
非耐久財	2.5	0.8	1.2	1.7	-1.7	-1.8
・医薬品	2.0	0.6	0.6	0.4	0.5	-0.6
・食料雑貨	0.9	0.0	-0.1	-1.8	-0.8	1.2

23:00

◀ 経済指標の結果 ▶

8月米 IBD/TIPP 景気楽観指数 48.4（予想 47.3・前回 45.5）

8月の米 IBD/TIPP 景気楽観指数は、前月から2.9ポイント上昇の48.4となり、3ヵ月ぶりの高水準となった。ただ、景気の判断基準となる50は16ヵ月連続で下回った。構成指数では、半年先の景気先行きは44.7（前月36.7）と3ヵ月連続の上昇、資金繰り見通しは58.0（58.0）、連邦政府の政策信頼度は42.5（42.5）となった。

指標結果データ

◀ IBD/TIPP 景気楽観指数 ▶

	7月	6月	5月	4月	3月	2月
景気楽観指数	48.2	48.2	48.7	46.3	46.8	47.8
半年先の景気先行	44.7	43.6	43.5	40.6	41.2	42.5
資金繰り見通し	58.0	57.7	61.1	58.1	58.1	58.0
政府の政策信頼度	42.5	43.3	41.6	40.3	41.2	42.8

2:00

◀ 米財務省3年債入札 ▶

最高落札利回り	0.850%（前回 0.765%）
最低落札利回り	0.688%（前回 0.600%）
最高利回り落札比率	54.18%（前回 63.62%）
応札倍率	2.98倍（前回 2.69倍）

◀ 欧州株式市場 ▶

欧州株式市場は、独 DAX は企業業績の改善期待で全面高となった。一方、英 FT100 は金融株を中心に買われ、ほぼ 1 年 2 ヶ月ぶりの高値で引けた。



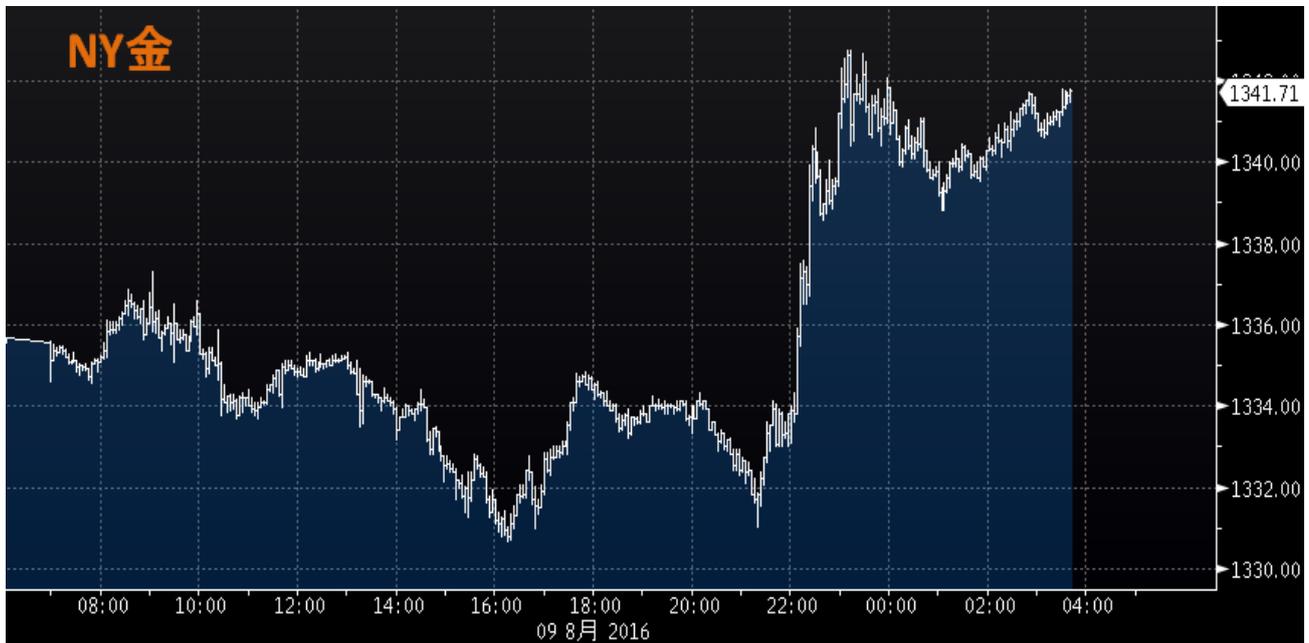
出所：Bloomberg



出所：Bloomberg

◀ NY 金市場 ▶

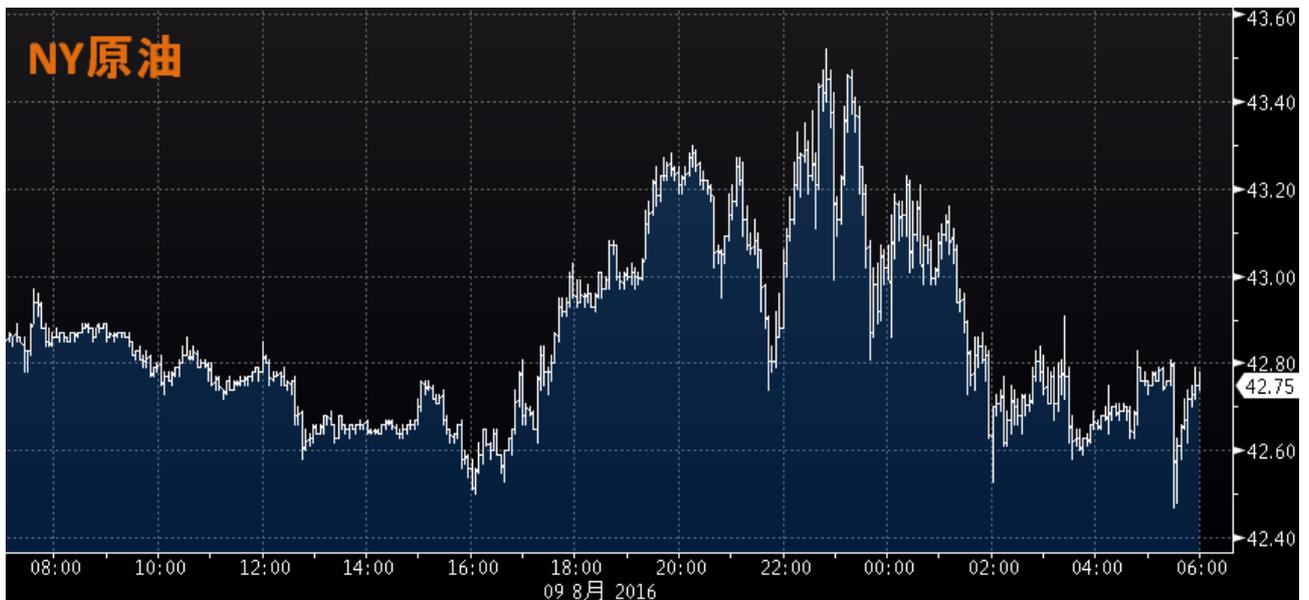
NY 金は、ドルが主要通貨に対して下落したため、ドルの代替資産とされる金を買う動きが優勢となり、3 営業日ぶりに反発した。



出所：Bloomberg

◀ NY 原油市場 ▶

NY 原油は、世界的な供給過剰への懸念が根強く、売りが優勢となった。また、米 EIA が短期エネルギー見通しで今年の米産油量予測を引き上げたことも圧迫要因となった。



出所：Bloomberg

《米株式市場》

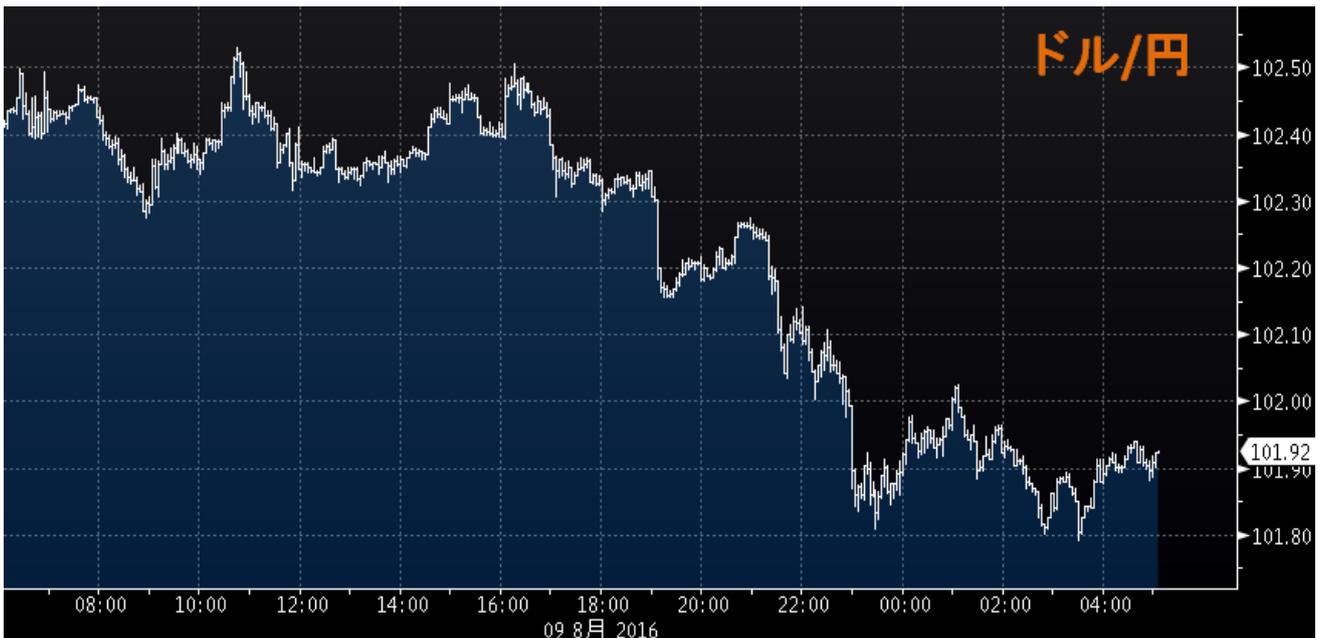
米株式市場は、日本株や欧州株の上昇が好感され、主要株価は買いが先行した。ただ、その後は利益確定の売りや、原油価格の下落などが影響し、上げ幅を縮小する動きとなった。ダウ平均株価は、序盤は堅調な動きとなり、一時前日比 56 ドル高まで上昇したものの、その後マイナス圏まで下げるなど、上値の重い動きとなり、小幅高となった。



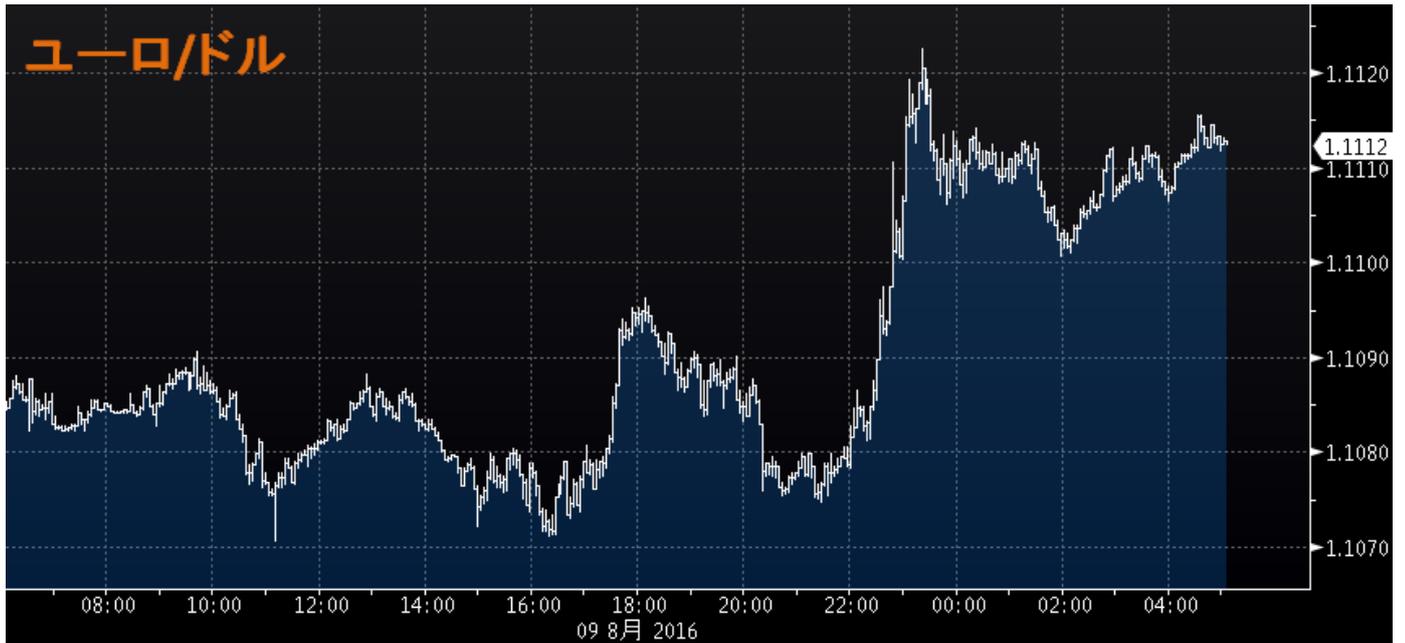
出所：Bloomberg

《外国為替市場》

外国為替市場は、序盤に発表された米経済指標が予想外の悪化となったことを受けて、ドル売り・円買いが先行し、ドル円・クロス円は軟調な動きとなった。その後、堅調な株価を背景に、値を戻す動きとなったものの、午後には株価がマイナス圏に下落したこともあり、ドル円・クロス円は終盤まで上値の重い動きとなった。



出所：Bloomberg



出所：Bloomberg

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複製もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。